広報 なかわだ

第446号

2017年7月2日

2017年7月

中和田カトリック教会
広報委員会

泉区中田北1丁目9-1　Tel.（045）803-6141
http://nakawada-catholic.com

「教会再建を目指して」

フランシスコ・ザベリオ　日野 武満　神父

中和田教会は再建について、教区、第５地区教会が協力して準備にかかっています。

神学校時代に木造の校舎が古くなり、神学生が多くなり再建に取りかかり、個室のドアに恩人の名前が書かれました。外国、日本人と１個室に二人の恩人の記名もありました。

中和田教会の再建に向けて信徒の皆さんが協力一致して、三年後を目標にして頑張っていく計画です。私は叙階後任命された教会は八つめですが、五つの教会の再建に関わりました。幸いに幼稚園と教会、日本経済バブル時代を迎えて、資金ぐりが順風となり、園児も信徒（青年達）も増加し、外国の宣教師が日本のために沢山の教会を建ててくださいました。私達はその教会に植えつけて下さった信仰と教会をしっかりと受け継ぎ、教会の再建の実現に頑張りましょう。

教会ごよみ（７月）

日	曜	典　礼（ミ　サ）	備　　考	そ　の　他
1	土	記念ミサ (9:30)	ペトロ岐部と１８７殉教者 [記]	
2	日	集会祭儀 (9:00)	年間第１３主日	
3	月	祝日ミサ (9:30)	聖トマ使徒 [祝]	
7	金	初金ミサ (9:30)	初金	
9	日	主日ミサ (9:00)	年間第１４主日	教会委員会
１２	水			聖書の会 (10:00)
１４	金	週日ミサ (9:30)		
１６	日	主日ミサ (9:00)	年間第１５主日	みんなの会
１９	水			聖書の会 (10:00)
２１	金	週日ミサ ((9:30)		
２３	日	主日ミサ (9;00)	年間第１６主日　子どもミサ	
２５	火	祝日ミサ (9:30)	聖ヤコブ使徒 [祝]	
２６	水			聖書の会 (10:00)
２８	金	週日ミサ (9:30)		
３０	日	主日ミサ (9:00)	年間第１７主日	

～ 中和田の風 ～

「一粒の麦」
～戦死した叔父が結ぶ縁～

昨年度から一粒会の担当をなさっている関口貴子さんにお話を伺いました。

▲洗礼のきっかけは？

⇒生まれてすぐに久留米教会で幼児洗礼を受けました。父の転勤で小平教会に移籍したのは三才頃です。小学生になると月曜日～金曜日までは習い事、土曜日の午後は教会の土曜学校、日曜日は朝早く起きて殆ど欠かさずミサに連れて行かれましたが、自宅から遠い教会へ行くこと自体が大変だったので私自身は教会嫌いでした。しかし小平教会の若い川下神父様の聖書のお話は未洗者の父も熱心に耳を傾け、家族ぐるみで親しくお話させて頂いていました。その後小平教会を離れても結婚講座、結婚式、父のお葬式は川下神父様にお世話になり司式していただきました。私たち家族が川下神父様に出会ったことはとても大きな出来事でした。

▲中和田教会に来られるようになった経緯をお話ください

⇒夫の横浜転勤を機に自宅近くの教会を調べたら、中和田教会が地下鉄立場駅から近かったということもありますが、海軍で戦死した叔父をそれまでは靖国神社でお参りしていましたが、教会でお祈りしたいと思い始めていたことが本当の理由です。教会に電話したその当日、約束の時間より少し遅れて行ったにもかかわらず、小林神父様が門の外に出て待っていてくださった姿は忘れられません。

叔父は２１才の若さで海軍に志願兵として入隊し、ベトナムのハオランキニョン沖で爆撃を受け亡くなりました。同じ軍艦に乗っていて生き残った方が、戦後すぐに祖父を訪ね、叔父が甲板で泣きながら血を流していたので止血をして見送ったと話しに来られたことを聞かされていたので叔父が可哀想でなりませんでした。叔父は信者ではありませんでしたが、叔父のために神様にお祈りしたいという思いが強くなっていたのです。

度重なる父の転勤、自分の就職、結婚後の転勤などで、教会を移籍する度に嫌なことがあり、しばらく教会に通っていなかったのですが、こうして中和田教会に繋がることができたのは神様に捕まえられているのでしょうね。

▲一粒会のことをお話ください

⇒一粒会の担当になってベトナムの神学志願生タムさんとの交流依頼のお話しがあった時は驚きました。ここ数年間ベトナムに行きたいという思いが募っていたところでしたから。みんなの会でお話したタムさんとお友達のグエンさんは今の日本ではなかなか出会えないような純朴で素晴らしい青年たちで、心が洗われるような思いがしました。現在は７月の日本語能力試験に向けて勉強しておられますが、是非とも合格して日本の神学院で学び司祭になっていただきたいと切に願います。今後日本におられる間交流しながら、当教会のベトナムの方たちとも交流を深めることができたらと思っています。そしてタムさんが司祭になった暁にはベトナムにタム司祭を訪ねて行き叔父の慰霊ミサを挙げて頂けるのが夢です。

第 五 地 区 サ マ ー キ ャ ン プ の お 知 ら せ

今年も、第五地区教会と雪ノ下教会合同で下記のように、サマーキャンプを行います。今回も友達をたくさん作れるように工夫して、子ども達の参加をお待ちしています。

記

日　時：２０１７年８月４日(金)～６日(日)　　２泊３日

行　先：佐倉草ぶえの丘（千葉県佐倉市）

内　容：ミサ　要理勉強　ゲーム　花火　陶芸　キャンプファイヤー　他

参加希望の方は、**７月９日**までに教会リーダーまたは井上までお申し込みください。

（宣教　井上 昭男）

千 葉 監 督 の 講 演 会

「マザーテレサの愛」の講演会が開かれました。

５月２７日に中和田教会で、千葉茂樹映画監督による「マザーテレサの愛」の講演会が開かれました。参加者の方々からは、マザーテレサの精神が伝わったという感想が寄せられていました。アンケートの感想から、一部紹介させていただきます。

（年齢不明）

・貧しい人々とともにあることが、本当の愛。ぎせいをともなう愛が本当の愛。貧しいとは、心の貧しさである。貧しい人への共感。ほほえみの大切さ。貧しい者は私自身である。たくさんの心にしみるお話をいただき、本当によかった。

（１０代）

・マザーテレサには会ったことがないので、くわしい話を近くにいた人にきくことができて良かったです。たくさんの言葉が心に残りました。本当にありがとうございました。

（５０代）

・マザーテレサは「ほほえみが大事」と言われたそうですが、私の叔母（介護中）を特養に訪ねたとき、私にほほえんでくれた（もう口はきけないのです）こと、そのほほえみのやさしさ、美しさ（私の方が癒されたほどです）を思い出しました。

・１９７９年、マザーテレサノーベル平和賞から、若いシスターの終生誓願の場所を見られてよかった。

（６０代）

・大変貴重なお話を聞かせて頂きました。久しぶりに自分の心のリセットが出来た感じが致します。感謝！

・マザーやシスターの仕事に喜びがなければ続けられるものではないと思うが、そこへの飛躍（？）は、どうしておきたのだろうか？

（７０代）

・インド政府の許可を頂くために、長い忍耐を必要としました。また、撮影のための機材を祈りによって与えて頂いたことに感動しました。「貧しい者は、私自身である」との言葉を頂いた事に感謝します。豊かな恵みを頂きました。賛美と感謝のうちに！！ありがとうございました。

・私は塾講師として４０年余となるが、年々、生徒も母親も生活面が粗雑であり、礼（神や目上の人や友もふくめて）を重んじる姿勢が失われつつある。生活面は楽になっても精神面のまずしさが目立つ。そういう中で今日のようなとりくみがあったが、今後は若い人々にもよびかけ協力したいと切に思った。

・マザーテレサのしわもお化粧をしない若きシスターたちのお顔も美しい。早朝よりの奉仕、休み～の私など不可能に思えます。やはり聖人のお言葉の意味は深い。映画監督さんも世界をとび大変ですね。心に残るお話をありがとうございました。

・現代の人々が忘れかけている小さな事、すぐそばに貧しい人がいる事を気にかけなければ、今からでもがんばりたい。

（８０代）

・すばらしい内容でした。実際にお会いした体験内容でしたので、心に残りました。教会ならではのいい企画で感謝します。

「マザーテレサの愛」の講演会に参加して

＜お二人の方の感想文をご紹介します。紙面の関係上、一部割愛させていただきました。＞

私は森脇先生から誘われて、今回の講座に参加しました。私は、教会関係者ではありません。講座の前に、マザーについて私が知っていたことといえば、新聞かテレビのニュース報道によるものだけだったと思います。今回の講座で、その仕事について、より具体的に知ることが出来ました。

インドの『死を待つ人の家』で働くマザーやシスターを映像で見ました。心に痛みを感じたような気がしました。過去にマザーらの仕事を、断片的にテレビで見たことがあるような気がするのですが思い出せません。もしかすると、テレビの映像は、無意識の領域に追いやられていたのかもしれないと思いました。自分の中の絶望的な状況への無力感とマザーらの献身、それが自分にとって意識したくないものだったのではないかと思うのです。

最期に大切にされて死に逝く人の表情や「苦しむ人と一緒にいて愛は喜びになる」「貧しい人から学び喜びをえる」といった言葉に、少しホッとしました。喜びがない献身的な仕事を長く続けるのは難しいのではないかと思います。また、千葉監督が手伝おうとすると、マザーに、

「それは、あなた方の仕事ではないでしょう。あなた方の仕事をしてください。」といわれたそうです。あなたの今すべき仕事をしてくださいという意味だと理解し、同様な気持ちになりました、マザーらの仕事だけでは、人々の暮らしは成り立ちません。

たいていの人は、目の前のことに手いっぱいです。しかし、マザーのような人がしている仕事を忘れないこと、意識することは、それだけでも意義があると思います。この文を書きながら、「忘れるな」「希望はある」という言葉が浮かびました。

（今給黎（いまぎれ）　信）

＜映像から＞

貧しい人々に奉仕するシスター達のなんと爽やかな笑顔だったことだろう！　路上で見捨てられた人々、あるいはまた、ハンセン氏病の患者に尽くす彼女たちの笑顔が、とても眩しかった。若い彼女たちは、M・テレサ様の活動に感化され、貧しい人々の為に自分の一生を捧げることを選んだのである。映画の中で千葉先生が、こう語られた。

「このシスター達は、みな裕福な家の生まれです。その彼女たちは、貧しい人々に尽くす道を選んだのです。自分も病気で死ぬかもしれません。」（大意）

私は、このコメントを聞き、“やはり、そうなのか！”と納得する想いだった。シスター達は、裕福な家の生まれなのに、貧しい人々に自らの命を捧げる道を選んだのである。

私は、千葉先生の言葉を聞き、大聖年の南欧聖地巡礼の旅を想い出した。アシジにてフランシスコやその仲間たちが裕福な生まれであったにもかかわらず、“この世の富をあきらめ、神の国の富を選んだ”事について、田口孝志神父様と語り合った。田口神父様は、

「人間は、普通の生活に満足できないのです。」

と、おっしゃった。それは、きっと、“人間の心は、富によって満たされるものではない”ということだったのだろうし、マザーテレサ様とシスター達の根源も同一のものだったのだろう。

＜千葉先生のご講演から＞

シスター達の食事は、なんと貧しい人々に供する食事そのものだったのである。その食事を撮影スタッフが食べてくれる事にシスター達は大喜びしたのである。この時、スタッフの中の無口な人が、「僕は、胸がいっぱいだ！」と語られたそうである。「本当に心が満たされた想いでした」と語られた千葉先生の言葉には、万感の想いが感じられた。

ご講演から感じた事は、マザーの心の強さである。私達は何かを決心しても怠け心によって、なかなか、その決心が貫けない。自分を少しでも律して生きてゆきたいものだ。今の自分を省みながら書いてみました。ありがとうございます。

（山本 益巳）

ミ ニ バ ザ ー

6 月 25 日（日）、雨のなか、ミニバザーが開催されました。バザーでは、中和田エプロン会の皆さまが準備した手作りの「いなり寿司、鶏団子スープ、らっきょう」やバウンドケーキや飲み物、海産物、武田さんのお肉、手作り品や中古品の販売を行いました。会場の設営や、料理や商品の準備等、ご奉仕された皆さま、ありがとうございました。

マザーハウス講演会

～受刑者の方々の社会復帰のために～

（文通を通して受刑者の更生を願う）

日　時：７月１６日（日）　ミサ後

ＡＭ１０：３０～１１：３０

会　場：中和田カトリック教会

横浜市営地下鉄「立場」下車５分

立場地区センター並び

講　師：五十嵐　弘志氏

（特定非営利活動法人マザーハウス理事長）

※五十嵐さんを囲んでランチをします。希望の方はお申込み下さい。

中和田教会　みんなの会主催　☎　045−803−6141

委員会だより

（文中敬称略）

〈6月10日（土）9名出席〉

■日野神父様のお話

・6月になりました。最近、知らない人から電話があり、「教会に行っていいですか。」と尋ねられることがあります。色々な用事や目的が考えられますが、お受けします。

■各グループからの報告

●典礼（小野（雅））

・5月より、日野神父様の御意向に基づいて、ミサ中に「召命の祈り」を唱える。ミサ中にお祈りカードを取りにいかない工夫が必要である。

・7月2日（日）は、ミサに替えて「集会祭儀」を行う。6月25日のミサ後に練習と要点打ち合わせを行う。中和田共同体が一体となって行うことが重要である。「集会祭儀のしおり」を配布する。

●財務（小野）

・5月分の一般会計、建設会計、愛の献金の会計報告が行われた。

・建設会計の今年の目標金額と現在の実績金額と予算金額をグラフ化して、掲示する。

・「世界広報の日」の献金引当分に特別献金を合算して横浜教区に送付する。

●総務（小山（恭））

・7月のスケジュール確認

・今年の「敬老の日」のお祝いは、9月17日に行う。今年、新しく該当となられた方々は5名。お知らせは住所不明の方は除いて、8月中に75才以上の方の全員に出す。手渡しに協力してください。

・先日の庭の掃除は、皆様の御協力で実施できました。枝の後始末は、武田さんのご家族がやってくださいました。ありがとうございました。

・水道管の劣化で、漏水が起きやすくなっている。皆さんで気を付けてほしい。

●宣教（岩﨑）

・5月27日に実施した千葉茂樹氏の講演会は、53名のご参加ありがとうございました。色々な理由で、参加がやや少なかったようです。マザーの精神が伝わったという感想をいただき、好評でした。経費は、教会からの謝礼と当日の献金で賄えました。

宣教（井上）

・湘南キリスト教セミナーの打ち合わせが鍛冶ヶ谷教会であった。ブランチ神父様のご提案で、今年は11月に3回に分けて実施する予定。テーマは、「子どもの貧困、いじめ、命の尊厳」で、3人の講師を予定している。経費の補助として、各教会から分担金をお願いしたい。

⇓中和田教会は、協力する。

・今年の泉区民クリスマスの打ち合わせが、6月29日に行われる。

・サマーキャンプは、8月4日～6日に千葉県の草ぶえの丘で行われる。教会から、子ども達やリーダーの参加費の補助が出る。

・一粒会大会は10月9日（体育の日）に長野県の軽井沢で行われる予定。

・一粒会で、「祈りのリレー」をする。中和田の当番は9月だが、「召命の祈り」を継続実施する。

●福祉（阿部）

・米、みそ、編んだ帽子などを届けた。

●広報（武田（幸））

・原稿依頼（締切6月21日）

●行事（森脇（彰））

・9月17日（日）に「敬老の日」のお祝い行事を行う。

●みんなの会（今井）

・みんなの会の2月～5月の建設献金に関する会計報告の資料を作成した。次回のみんなの会で報告したい。マザーハウスのコーヒーの販売価格の一割と一杯百円で提供しているサロンのコーヒーの売り上げ合計を献金として財務に提出した。

・7月16日のミサ後に、マザーハウスの五十嵐弘志氏を講師として、講演会を開催する。講演の謝礼は今までみんなの会で依頼した講師の方への謝礼に準ずる。その他献金もお願いしたい。チラシを近隣教会にも送付する。講演会終了後は五十嵐さんを囲んでランチをしながら分かち合いをする。

●エプロン会（岩渕委員長代理）

・聖歌の集いや千葉氏の講演会など、外部の方を迎えて行う機会が3回あり、販売を行ったが、当教会の方の購入が多かったようだ。

●建設委員会（岩渕委員長）

・教区の建設委員会に基本計画書を出した。拡大建設委員会を経ずに出したが、審議はしてくださり、質問状も頂いた。回答書を提出し、教区の御意見待ちの状態。

・近隣教会に対する資金協力依頼の一環として、明日は藤沢教会に行き、協力依頼説明会を行う予定。また、今迄色々な機会を通して依頼してきたが、これからも継続して協力をお願いする。

■その他報告事項

・月修資料が配布された。

・今年も神父様は11月末から休暇でイタリアに巡礼に行かれるので、ご一緒したい方は申し出てください。

以上

（次回委員会7月9日）